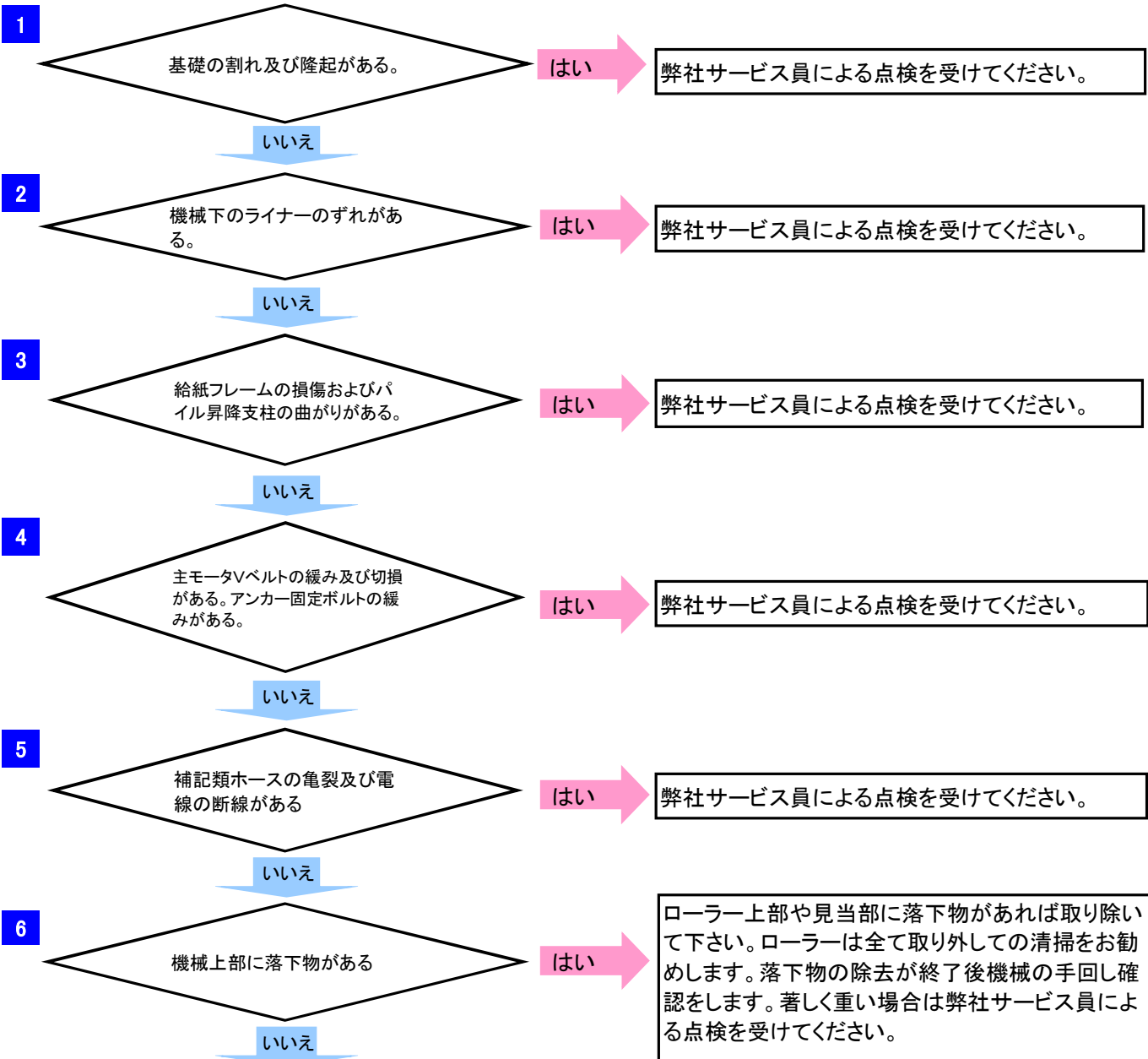


# <<震災時の印刷機のチェックポイント>>



震災を受けられた場合は下記機械の診断チェックを行ってから稼動を行ってください。震災による停電がある場合は工場及び機械の一次、二次電源を必ず切っておいてください。(突然の電源復帰での二次災害防止)



- ①機械の手回し確認をします。著しく重い場合は弊社サービス員による点検を受けてください。  
(平常時に機械手回しを行い手回し時の重さを確認しておくことをお勧めします。)
  - ②一次電源を入れる前に機械側の二次電源を切っておいてください。(一次電源を入れ、二次電源を入れてください。)
  - ③給紙、排紙のパイル台の作動確認を行ってください。(最下限、上限リミット作動及び異音確認)
  - ④補記類の作動確認を行ってください。(湿し水を循環し漏水確認、給紙排紙各ポンプ異音確認)
  - ⑤機械空転確認(寸動→緩動→運転にて異音が無いか)
- 上記にて問題がなければ通常稼動よりも減速して印刷確認をお願いします。昇速は徐々にお願いします。  
上記に問題があれば弊社サービス員による点検を受けてください。

※稼働中に震災を受けた場合に湿し水が漏れ見当部、圧胴、中間胴の紙搬送爪周りにて焼付が発生する場合がありますので水のふき取り及び各部の給油を行った後稼動をお願い致します。

問い合わせ先 メール [rmg-seisa@ryobi-group.co.jp](mailto:rmg-seisa@ryobi-group.co.jp)

対策本部 072-685-1851

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社